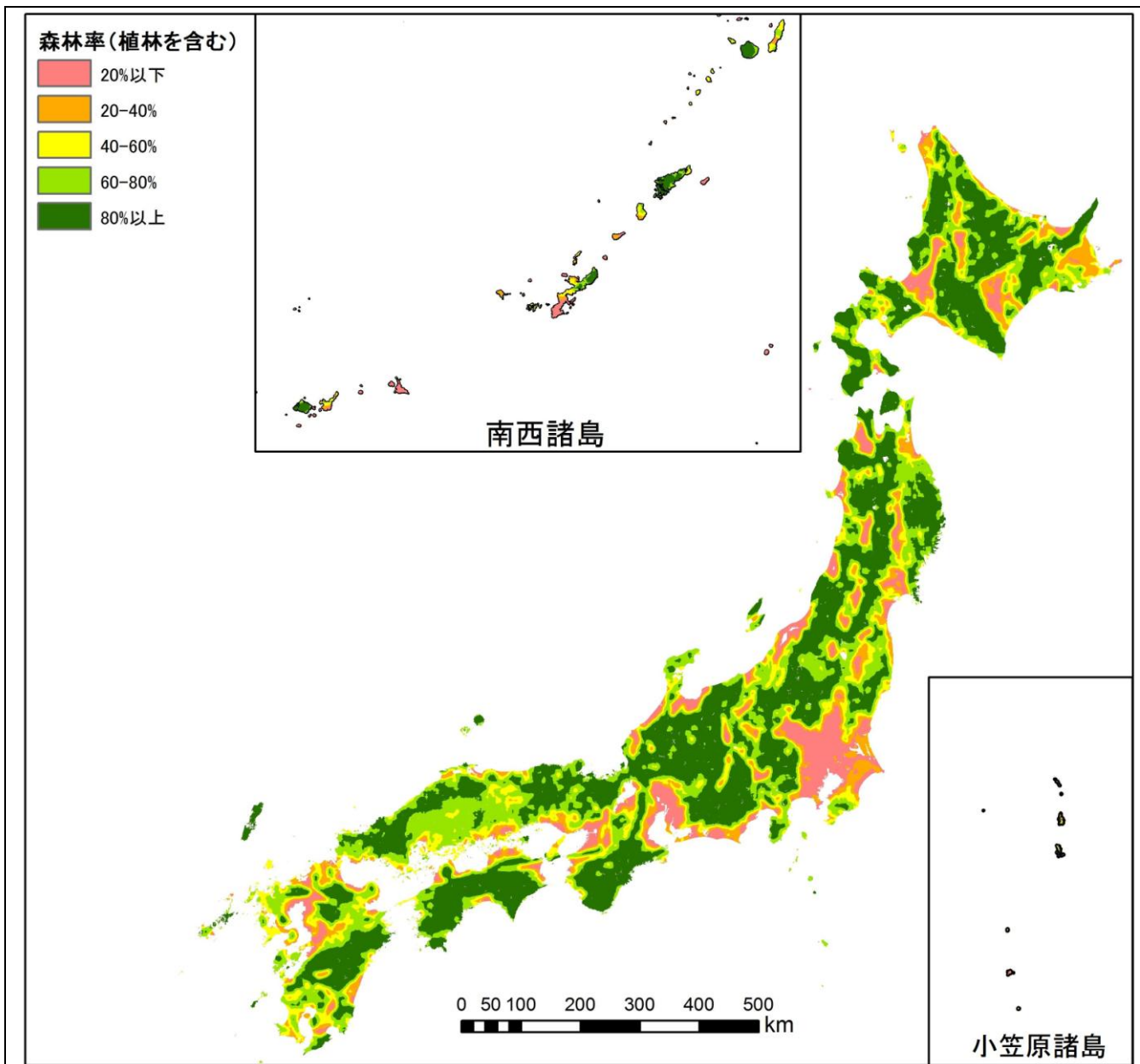


森林の連続性

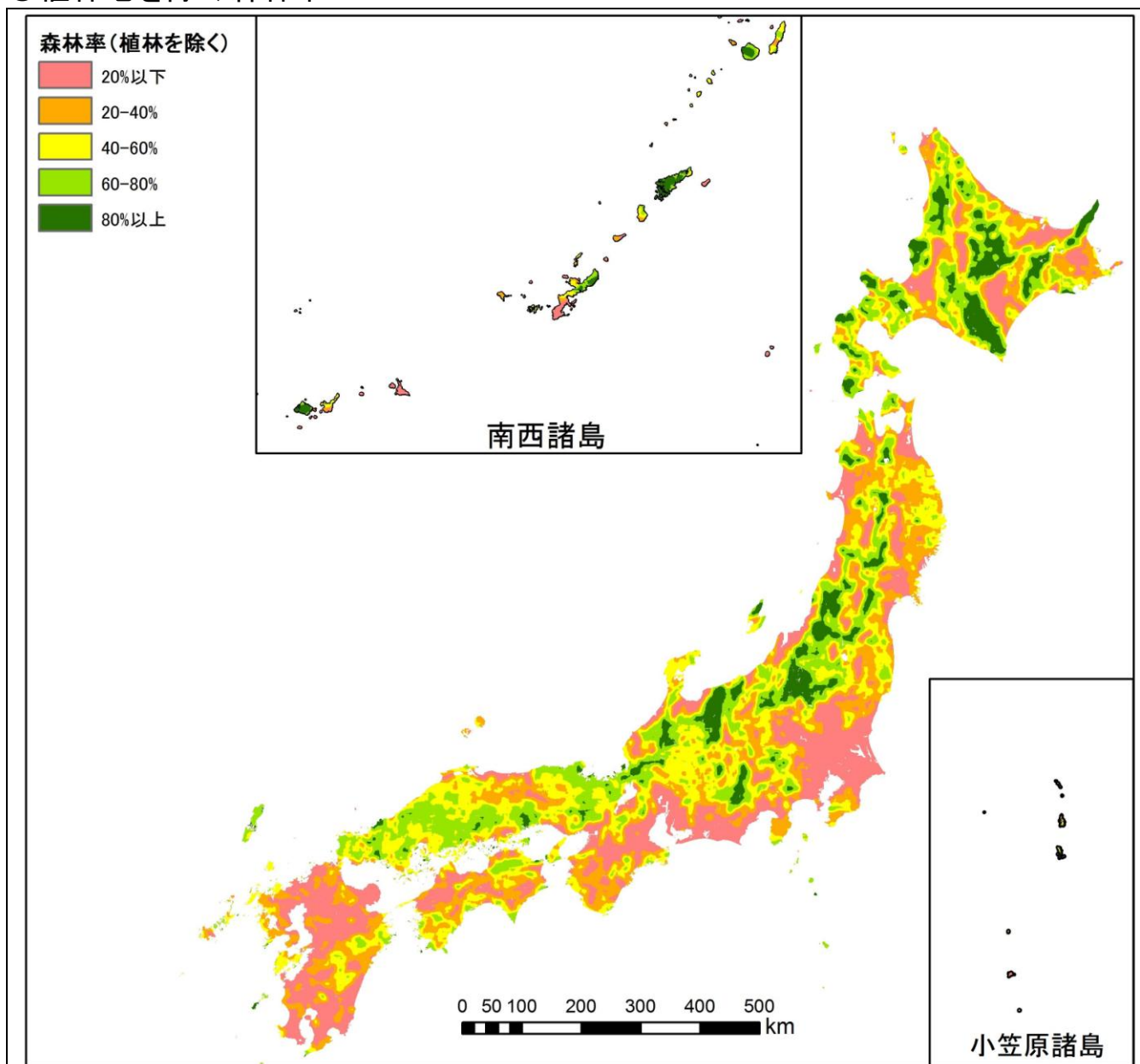
- 森林は主に山脈に沿って全国に広がっており、動植物の生息・生育地として機能している。
- 植林を含めた場合と除いた場合で森林の連続性は大きく異なる。植林を除いた場合の連続性、すなわち自然林及び二次林の連続性は、西日本で低くなっている。

○植林地を含む森林率



注：ここでいう森林率とは、10km×10kmの範囲内（海面・湖沼を除く陸域）において、植生自然度 6, 7, 8, 9 に相当する森林が占める割合。
出典：環境庁自然保護局:第 2,4,5 回自然環境保全基礎調査（植生調査）.
1994-1998 年度時点の調査データを反映。

○植林地を除く森林率



注：ここでいう森林率とは、10km×10kmの範囲内（海面・湖沼を除く陸域）において、植生自然度 7, 8, 9 に相当する森林が占める割合。
出典：環境庁自然保護局:第 2,4,5 回自然環境保全基礎調査（植生調査）.
1994-1998 年度時点の調査データを反映。